

なぜ名古屋で、教育旅行??

名古屋をオススメするポイント



1. テーマの充実

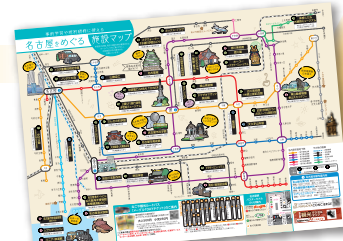
名古屋市は日本の中心に位置し、独自の文化を発展させてきました。市内には、たくさんの観光施設や体験プログラムがあり、学校のニーズに合わせた研修テーマをご提供することができます。またテーマごとに分かれてのクラス別や班別研修など、幅広く深い学習が可能です。

テーマ(例)	関連する観光施設や体験プログラムなど
歴史	名古屋城、熱田神宮、四間道、徳川美術館
伝統文化	和菓子処なごや、有松・鳴海絞、名古屋黒紋付染、尾張仏具
ものづくり	トヨタ産業技術記念館、ブラザーミュージアム
SDGs	藤前干潟、東山動植物園
食	なごやめし、和菓子文化、味噌文化、柳橋中央市場
観光	レゴランド®・ジャパン、オアシス21、大須商店街
芸術	名古屋能楽堂、ヤマザキマザック美術館



2. 班別研修のしやすさ

名古屋市には、市内だけでおよそ30カ所以上の研修スポットがあります。市内では地下鉄や市バスをはじめとする公共交通機関が発達しており、ほとんどの研修スポットは公共交通機関で回ることができます。



▲施設マップ 一日乗車券▶

班別研修で使える
「施設マップ」や
「一日乗車券」も
あります!



3. 緊急時も安心安全

新幹線や高速道路などを利用した、日本各地からのアクセスに優れています。
発熱などの体調不良による緊急時お迎えも安心!

東京から 新幹線で 約1時間40分
大阪から 新幹線で 約50分
京都から バスで 約2時間
神戸から バスで 約2時間40分



＜教育旅行に関するお問い合わせ先＞

(公財)名古屋観光コンベンションビューロー 観光部

電話：052-202-1143 FAX：052-201-5785 MAIL：kokunai@ncvb.or.jp



2024年3月



教育旅行ガイド

名古屋 体験プログラム集

EDUCATIONAL TRAVEL GUIDE NAGOYA CITY
EXPERIENCE PROGRAM COLLECTION



©2024 The LEGO Group.

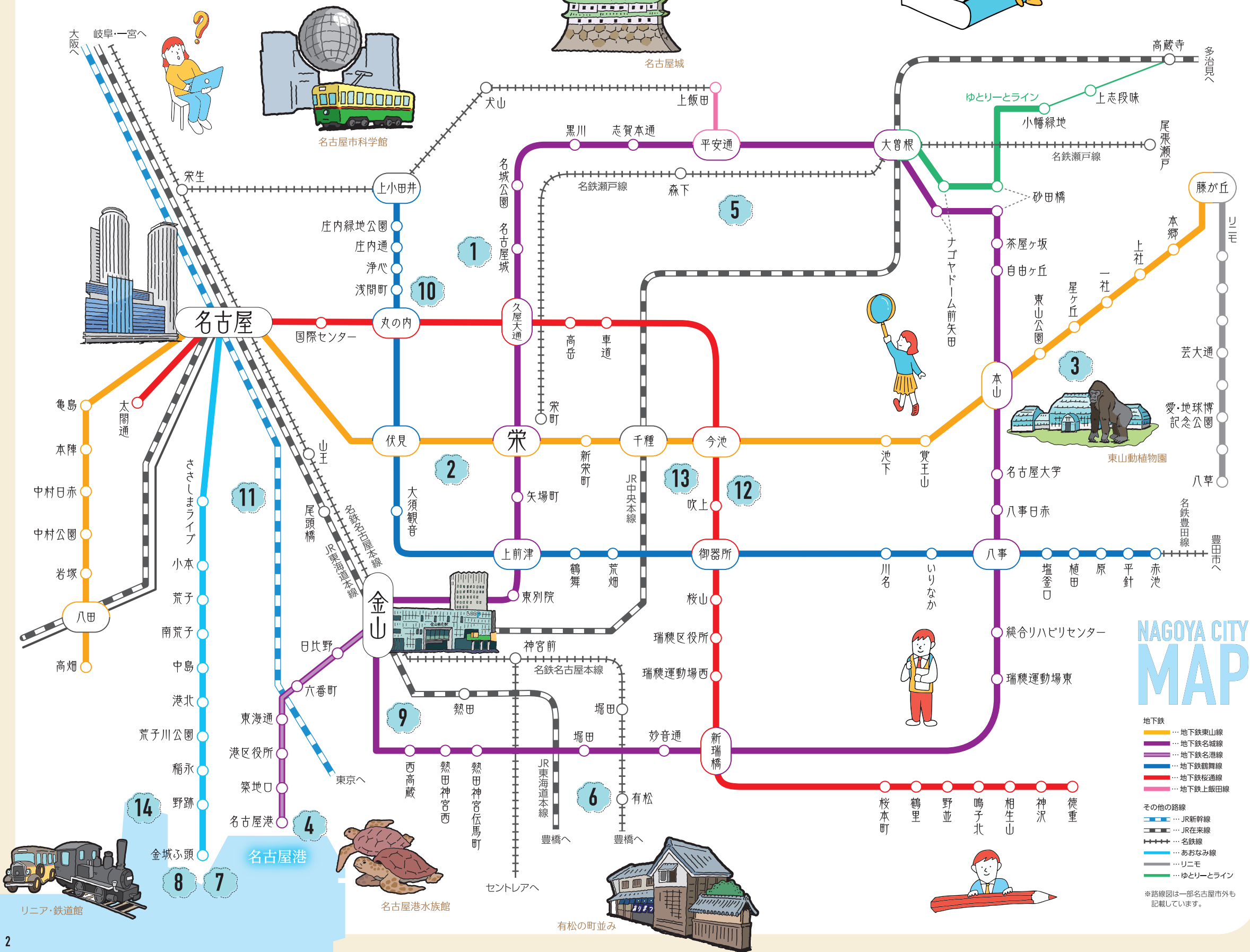


グローバルな課題を楽しく体験しながら学ぶ!



公益財団法人
名古屋観光コンベンションビューロー

グローバルな課題を
楽しく体験しながら学ぶ!



- 1 名古屋おもてなし武将隊から学ぶ
名古屋城本丸御殿築城による
木曾ヒノキ保存活動とその歴史
名古屋城 6ページ
 - 2 科学で環境問題を解決!?
環境問題と暮らしの関係性について考えてみよう
名古屋市科学館 7ページ
 - 3 動物の飼育種類数日本一
東山動植物園で学ぶSDGs
東山動植物園 8ページ
 - 4 水族館で学ぶ海の環境学習プログラム
海洋プラスチックがもたらすウミガメへの影響
名古屋港水族館 9ページ
 - 5 戦国時代へタイムスリップ
大名文化から学ぶ歴史と文化の継承
徳川美術館 10・11ページ
 - 6 尾張藩が保護した伝統工芸品
有松絞りの歴史と今を体感!
有松・鳴海校会館 12ページ
 - 7 リニア・鉄道館で学ぶ
鉄道会社が取り組む、環境にやさしいSDGs
リニア・鉄道館 13ページ
 - 8 プログラミングで思考力と課題解決力アップ!
ロボットとの共生社会への第一歩
レゴランド®・ジャパン 14ページ
 - 9 愛知の伝統的工芸品『尾張仏具・三方』を作る
老舗企業から学ぶ
環境に配慮した廃材の有効活用とは
岩田三宝製作所 15ページ
 - 10 ●日本独自の文化～家紋文化を知る～家紋刷り体験
●洋服の染め替え体験から学ぶ、
伝統産業が取り組むSDGs
山勝染工 16・17ページ
 - 11 アップリサイクル!身近なプラスチックゴミで缶バッチ
制作体験!～名古屋産業の支え、中川運河沿いで学ぶeco～
近藤印刷 18ページ
 - 12 地元の食材を使った守り続けたい「なごやめし」
味噌煮込みうどんを作る・食す、そして学ぶ!
大久手山本屋 19ページ
 - 13 ●名古屋の和菓子職人から学ぶ 伝統的食文化と、
体によく環境に優しい和菓子づくり体験
●尾張徳川家の茶の湯文化から発展した和菓子づくりから学ぶ
地域に根付いた和菓子文化と未来への継承
福田屋 20・21ページ
 - 14 藤前干潟で考える環境問題
干潟・海の環境保全のために私たちができること
稲永ビジターセンター、藤前干潟活動センター、
名古屋市野鳥観察館(藤前干潟) 22・23ページ

名古屋市は SDGs未来都市です

SDGs未来都市とは…

SDGsの理念に沿った基本的・総合的取組を推進しようとする都市・地域の中から、特に、経済・社会・環境の三側面における新しい価値創出を通して持続可能な開発を実現するポテンシャルが高い都市・地域として選定されるものです。
名古屋市は令和元(2019)年7月に選定されました。



持続可能な開発目標SDGsとは

SDGsは、2030年までに達成すべき世界共通の目標であり、健康や教育、経済成長、気候変動などに関する17のゴールと、それをより具体的に示す169のターゲットで構成されています。「誰一人取り残さない」社会の実現をめざし、すべての関係者(先進国、開発途上国、民間企業、NGO、市民、有識者など)が、経済・社会・環境をめぐる幅広い課題に一体となって取り組む必要があります。



東山 動植物園

生物多様性の大切さを知り、
地球環境を守るために
出来ることを考える

- ◆約450種の動物、約7,000種の植物を展示し、動物・植物ともに100種以上が絶滅危惧種です。
- ◆これらの動物を増やし次世代につなぐと共に、人々が動物を通して自然を理解し、体験できる場と機会を提供しています。
- ◆生物多様性の大切さを知り、地球環境を守るために何ができるか、何から始めるかを考える施設として、「人と自然をつなげる架け橋」となる取り組みを行っています。

動画はこちら⇒
コバと一緒にSDGsを探検に行こう!
「東山動植物園編」
2020年12月15日公開



名古屋市 科学館

みて、ふれて、たしかめて楽しみながら
SDGsを学ぶ

- ◆「みて、ふれて、たしかめて」をコンセプトに、楽しみながら科学にふれることのできる施設です。
- ◆科学館自体が環境のことを考えた建物。太陽光発電や風力発電といった自然エネルギーを電気として使用、屋外展示では必要な範囲だけを照らす光害対策照明を使用し、エネルギーのムダ使いを防いでいます。
- ◆これはSDGsの目標7「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」に繋がっています。

動画はこちら⇒
コバと一緒にSDGsを探検に行こう!「名古屋市科学館編」
2020年12月15日公開



名古屋市科学館提供

SDGs × ナゴヤ

名古屋の
観光施設でマナブ
SDGs

藤前干潟

干潟の自然環境、
保全に向けた取り組みからSDGsを考える

- ◆藤前干潟は日本有数の渡り鳥の飛来地で、干潟には魚やカニ、貝などの多くの生きものが生息する、生命の繋がりと私たちの暮らしのあり方を教えてくれる貴重な場所で、ラムサール条約の登録湿地。
- ◆藤前干潟を守る活動として、大規模ごみ清掃活動「藤前干潟クリーン大作戦」を行っています。
- ◆「稲永ビジターセンター」「藤前干潟活動センター」および「名古屋市野鳥観察館」は、藤前干潟の自然環境・保全に向けた取り組みについて学べる施設です。いろいろな団体が随時ごみ回収を行っており、ボランティア体験として行うことができます。

動画はこちら⇒
コバと一緒にSDGsを探検に行こう!「稲永ビジターセンター編」
2021年3月17日公開



藤前干潟
クリーン大作戦



NPO法人藤前干潟を守る会

名古屋おもてなし武将隊から学ぶ 名古屋城本丸御殿築城による 木曽ヒノキ保存活動とその歴史



学習のねらい

愛知県は、天下に名を馳せた三英傑、織田信長、豊臣秀吉、徳川家康をはじめ、江戸時代の大名の約7割が愛知出身者で占めた“武将のふるさと”です。2009年11月「名古屋開府400年」のPR大使として誕生した「名古屋おもてなし武将隊」と名古屋城内を巡り、名古屋城と木曽ヒノキの関係や、名古屋城の史跡を保存管理し続けることの大切さを学びます。



©2009 Nagoya Omotenashi Busho-Tai Secretariat

ツアーの様子

名古屋おもてなし武将隊 名古屋城ツアー

事前学習

- 名古屋城の歴史を調べる
- 自分が住んでいる地域のお城や歴史について調べる

現地学習

- 名古屋おもてなし武将隊と一緒に名古屋城内をめぐり、当時の様子や人々の暮らしを考える
- 文化財の大切さ、継承の難しさを考える
- ヒノキが使用されている本丸御殿を見学し、過去から現在、未来に至る植樹のサイクルを学ぶ

※名古屋おもてなし武将隊は、天守閣・本丸御殿の建物内には入場しません

事後学習

- 自分が住んでいる地域のお城と名古屋城の違いをまとめる
- 文化財の保存や維持のために必要なことや、そのために自分に何ができるかを考える

対象

小学生
中学生
高校生

名古屋城

料金 (税込)	体験料：無料 入場料：中学生以下無料 高校生500円 ※団体割引あり	受け入れ 人数	1日1グループ 同伴者含め30名まで ※大人の方(教員・学校関係者) の同伴が必要となります	体験 所要時間	約40分 ※毎時00分出発 ※正門横総合案内所に集合(要調整) ※遅延対応は15分まで (遅延分ツアー時間を短縮します15分を 超えた場合は中止となります)	名古屋城施設情報 ※団体割引等
事前 予約	メールまたはTELにて3カ月前 までに要申込 (名古屋観光コンベンションビューロー)	受入可能時間	10:00～15:00	当日準備物	なし	QRコード
	予約先E-mail	kokunai@ncvb.or.jp		予約先電話番号	052-202-1143	

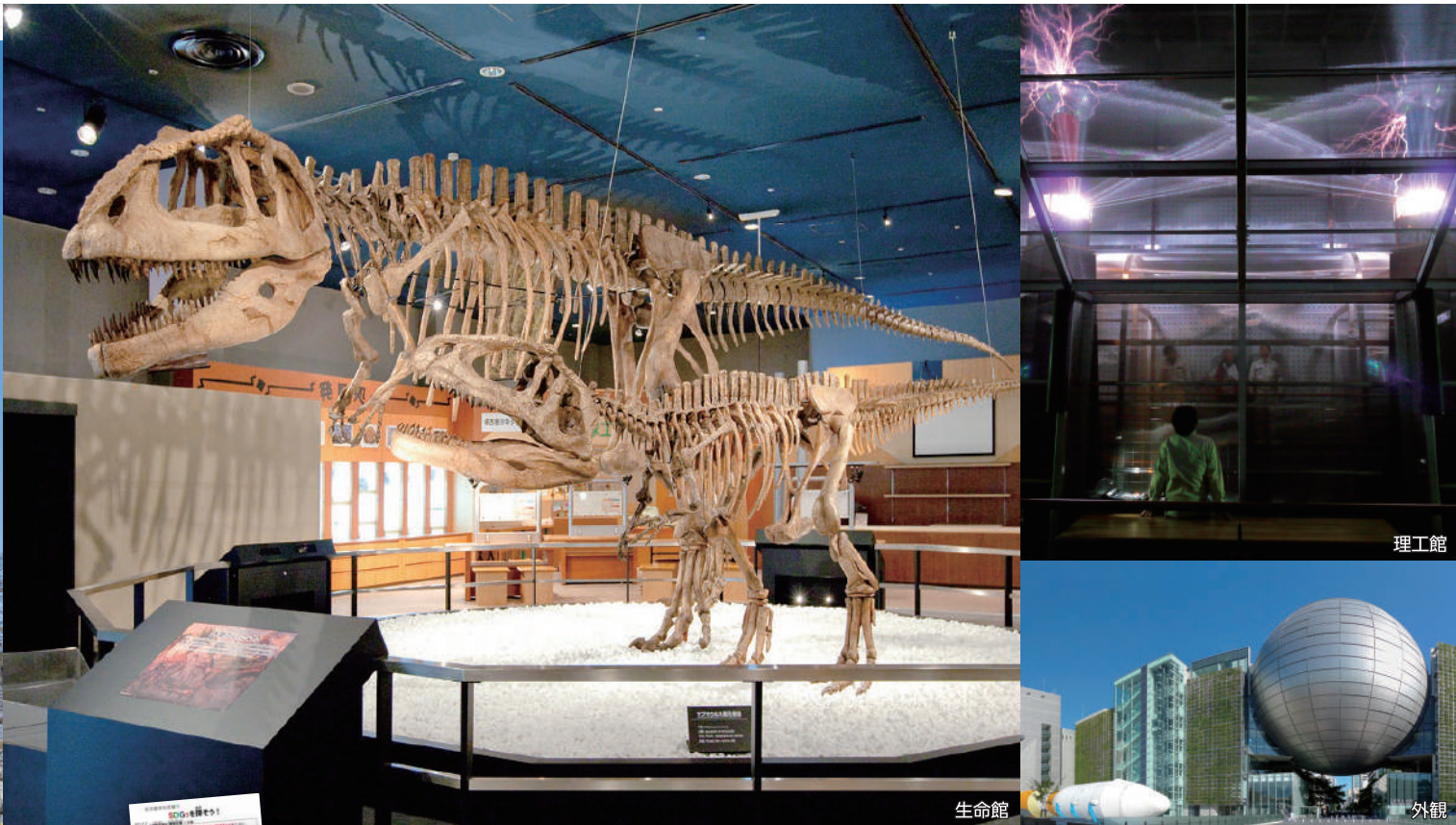
科学で環境問題を解決!?

環境問題と暮らしの関係性について考えてみよう



学習のねらい

太陽光発電や風力発電を取り入れた環境にやさしい施設「名古屋市科学館」で、展示やワークシートからエネルギーや気候変動、資源についての環境問題を学びます。「みて、ふれて、たしかめて」を実際に体験することで、SDGsを身近に感じ、目標を達成するために自分に何ができるかを考えます。



理工館

生命館

外観

みて、ふれて、たしかめて! ワークシートを使って館内を巡ろう

事前学習

- 名古屋市科学館のSGDsの取り組みについて調べる
- 自分の生活の中にある、身近な環境問題を見つける

現地学習

- SDGsカードを使用して目標と関わりのある展示を探す
- 名古屋市科学館が取り組む「環境にやさしい」を見つける
- 環境問題解決のために科学ができることについて調べる

事後学習

- 自分ができる「環境にやさしい」行動をする
- 環境問題を解決するために自分ができていることを考える

対象

小学生
中学生
高校生

名古屋市科学館

料金 (税込)	体験料：無料 入館料：中学生以下無料 高校生 展示室のみ / 200円 展示室+プラネタリウム / 300円	受け入れ人数	制限なし	体験所要時間	任意に設定可能	ホームページも ご覧ください。
受入可能時間	9:30～17:00	当日準備物	なし	事前予約	団体受付用電話後、FAXにて申込 (2024年3月以降インターネット予約へ移行予定)	QRコード
取消料	なし	休館日	毎週月曜日(祝日の場合は翌平日) 毎月第3金曜日(祝日の場合は第4金曜日)	団体受付用電話番号	052-231-9771	予約先FAX番号
					052-203-0788	

動物の飼育種類数日本一
東山動植物園で学ぶSDGs



学習のねらい

東山動植物園ではアジアゾウ、コアラ、レッサーパンダ、ニシゴリラなど約450種の動物が暮らしており、飼育種類数は日本一です。また植物園には自然を生かした地形に約7000種の植物を保有しており、四季折々の風景が楽しめます。すばらしい自然環境の中で、種の保存や、生態系・環境についての問題を考え、動植物たちの未来の為に自分に何ができるかをプログラムの受講と現地見学を通して考えます。



水族館で学ぶ海の環境学習プログラム
海洋プラスチックがもたらすウミガメへの影響



学習のねらい

絶滅が心配されているウミガメの繁殖や研究にも力を入れている、日本屈指の都市型水族館「名古屋港水族館」で、約500種50,000匹の命から学ぶ環境学習。現在の海洋プラスチックの現状や取り巻く環境問題を含めて海の豊かさや海で暮らす生き物を守ることが人間にとってどれだけ大切であるかを、職員の方からのお話を聞きながら学びます。



環境教育プログラムの受講

テーマ例：「動物園で学ぶSDGs」「動物園で生物多様性を考える」「絶滅危惧種《私たちの身近に起こっていること》」
※東山動植物園では様々なプログラムを用意しております。詳しくはHPをご覧ください。

事前学習

- 人間が動植物に与えている影響を考える
- 生態系や種の保存について調べる

現地学習

- 環境教育プログラムを受講して、動植物が置かれている状況を学ぶ
- 受講後に動植物園内を見学し、学習展示や解説などを通して理解を深める

事後学習

- 動植物と人間が共存していくためには何ができるかを考える
- 自然環境を守る為に、今自分が始められる活動を実践する



対 象		名古屋市東山動植物園			
小学生 中学生 高校生	料金 (税込)	体験料：無料 入園料：中学生以下無料 大人(高校生以上)500円 ※団体割引あり	受け入れ人数	5名～100名 ※体験プログラムにより異なります	体験所要時間
	休園日	毎週月曜日(祝日または振替休日の場合はその直後の祝休日ではない日)	受入可能時間	9:00～16:50 ※体験プログラムにより異なります	当日準備物
	問い合わせ先電話番号	052-782-2111	事前予約	希望日の2カ月前までにメールまたはFAX	筆記用具※体験プログラムによっては汚れても構わない服装の必要あり
		予約先E-mail	higashiyamaprogram@lime.ocn.ne.jp		予約先FAX番号
				052-782-2140	



写真提供：名古屋市東山動植物園

海の環境について学ぶ

テーマ例：「名古屋港水族館のウミガメについて」「名古屋港水族館飼育係の仕事」
※名古屋港水族館では様々なプログラムを用意しております。詳しくはHPをご覧ください。

事前学習

- 海洋プラスチックがもたらす環境問題や海の生物への影響を調べる

現地学習

- プログラムの受講及び館内見学
- 海洋プラスチックがもたらす環境問題について学ぶ
- 名古屋港水族館で飼育展示しているウミガメの生態について学ぶ

事後学習

- 海の生き物が暮らす環境を守るためにできることは何か考える
- 環境問題となるプラスチックゴミについて自分ができることを考える

対 象
小学生
中学生
高校生

対 象		名古屋港水族館			
小学生 中学生 高校生	料金 (税込)	体験料：無料 入館料：小・中学生 1,010円 高校生 2,030円 ※団体割引あり	受け入れ人数	10名～250名 ※相談可能です	体験所要時間
	取消料	なし	受入可能時間	お問い合わせください	当日準備物
	休館日	毎週月曜日(祝日の場合は翌平日)冬季にメンテナンス休館があります	事前予約	来館1カ月前までに電話にて要予約	なし
				予約先電話番号	052-654-7080



ホームページもご覧ください。

戦国時代へタイムスリップ 大名文化から学ぶ歴史と文化の継承



学習の
ねらい

日本の歴史を語る上で欠かすことのできない『信長』『秀吉』『家康』。三英傑と呼ばれるこれらの武将はすべて愛知で生まれ育ちました。徳川美術館では戦国時代の様子や平安時代から続くあそび文化などが体験できるだけでなく、現代までの文化継承や、美術品の保存から後世に残していく難しさなど、守り広め伝えていく大切さや難しさもSDGsの観点から学びます。



事前学習

- 戦国時代の生活について調べる
- 地元の文化や歴史を調べる

現地学習

- 国宝をはじめ、貴重な展示物を見て当時の様子を学び、肌で感じ、そして守り伝えていくことの大切さを学習する

※数種類を組み合わせでの体験も可能です。お問い合わせください。

事後学習

- 文化継承の大切さを考え、自分が住んでいる地域での取り組みに置き換えて考える
- 歴史に触れる事で、今の生活との違いやものものの大切さを考える

対 象

小学生

中学生

徳川美術館

体験数等によって異なります。お問い合わせください。

料金 (税込)	体験料：有料 入館料：中学生以下無料 ※当日現金支払い	受け入れ人数	20名～ ※要相談	体験 所要時間	1つの体験で約30分 (人数により変動あり ※要相談) ※入館から退館まで約100分	ホームページも ご覧ください。
取消料	前日まで：無料 当日：入館料100%	受入可能時間	10:00～16:00	当日準備物	えんぴつ ※シャープペン不可	
休館日	毎週月曜日(祝日の場合は翌平日)	事前予約	来館1カ月前までにメールまたは電話にて要予約			
		予約先電話番号	052-935-6262	予約先E-mail	toiawase@tokugawa.or.jp	

刀組み立て体験

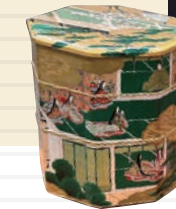
戦国時代に使われていた刀はいったいどんなものだろう。刀の扱い方に意味があるのか考えてみよう。
刀(模造刀)を解体や組み立てをしてみよう。



イメージ

貝合わせ体験

平安時代から伝わるお姫様の遊びのひとつ。貝の模様をよくを見て、ぴったり合う貝を探してみよう。ぴったり合う貝は世界に1つしかありません。



イメージ

火縄銃体験

火縄銃はどこからどのように伝わったのか。弾の込め方、打ち方、的の狙い方を体験し、戦国時代の武将体験をしてみよう。



イメージ

長篠合戦図屏風 読み解き体験

長篠合戦図から、戦国時代の人々の様子や合戦での戦略、戦いの様子を読み解いてみよう。



イメージ

尾張藩が保護した伝統工芸品 有松絞りの歴史と今を体感！



学習のねらい

絞りの町、有松は江戸時代の初めに絞りの開祖竹田庄九郎により誕生しました。尾張藩が有松絞りを藩の特産品として保護し、当時の旅人が土産に手ぬぐいや浴衣などを買求めたことにより『名産有松絞り』が誕生したという歴史があります。有松・鳴海絞会館では、有松絞りの歴史や技法にふれ、実際に体験することで、伝統工芸の伝承について学びます。



有松絞り体験(手ぬぐい雪花板締め絞り)

事前学習

- 自分が住んでいる地域の伝統工芸品を調べる
- 有松絞りについて調べる

現地学習

- 職人さんの実演・資料室をみて有松絞りについて学ぶ
- 有松絞り体験

事後学習

- 有松絞りを次世代に継承するためには、普段の生活にどのように融合させればよいのか考える
- 自分が住んでいる地域に残る伝統工芸品を未来に継承するための取り組みを考える

対象

小学生

中学生

高校生

有松・鳴海絞会館

料金(税込)	体験料：2,300円	受け入れ人数	6名～50名	体験所要時間	絞り体験：約60分 ビデオ鑑賞：約15分	ホームページも ご覧ください。 
休館日	年末・年始以外無休 ※臨時休館あり	受入可能時間	10:30～ 14:00～	当日準備物	なし	
事前予約	2週間前までにメールまたは電話にて要予約					
予約先E-mail	info@shibori-kaikan.com		予約先電話番号	052-621-0111		

リニア・鉄道館で学ぶ 鉄道会社が取り組む、環境にやさしいSDGs



学習のねらい

JR東海リニア・鉄道館でのオリエンテーションや実物車両の見学を通じて、鉄道技術の進化や鉄道会社に取り組むSDGsを学びます。使わなくなった新幹線が暮らしの身近なものにリサイクルされていたり、駅やホームでは身体が不自由な方でも利用できるようなやさしい工夫がされているなど、鉄道会社はSDGsに積極的に取り組んでいます。



オリエンテーション「リニア・鉄道館でSDGsを学ぼう」を体験

事前学習

- 鉄道と環境の関係について調べる
- 鉄道を含め各輸送機関の特徴や環境問題への取り組みについて調べる
- 建設が進められている超電導リニアについて調べる

現地学習

- オリエンテーションを通じて、鉄道におけるSDGsの取り組みを知る
- 実物車両や展示から技術の進化や環境へ配慮などを見つける
- 超電導リニアが人や環境、暮らしへ及ぼす影響を学ぶ

事後学習

- 鉄道と他の輸送機関の違いから環境問題を考える
- 自分が利用する駅で「人にやさしい工夫」を見つける
- 超電導リニアの開通が社会に与える変化について考える

対象

小学生(SDGsの体験は5年生以上)

中学生

高校生

JR東海 リニア・鉄道館

料金(税込)	体験料：無料 入館料：小学生200円 中・高校生300円 ※学校教育割引利用の料金	受け入れ人数	10名～70名	体験所要時間	約20分 ※オリエンテーションのみ ※別途見学時間が必要 ※SDGsの体験は小学5年生以上	ホームページもご覧ください。
休館日	毎週火曜日(祝日の場合は翌日) ※年末等は異なるため、詳しくはホームページをご覧ください	受入可能時間	10:00～17:30(最終入館は17:00) ※予約時に調整	当日準備物	筆記用具	
事前予約	当館ホームページの申込書をFAX ※オリエンテーション希望の場合は2カ月前の末日までに要予約 ※多客期を除く平日のみ	問い合わせ先電話番号	052-389-6100	予約先FAX番号	052-389-6101	

プログラミングで思考力と課題解決力アップ！ ロボットとの共生社会への第一歩



学習の
ねらい

ロボットが多く活躍する時代となり、人々の生活に役立っています。レゴランド®・ジャパンでは、レゴ®ブロックでできたロボットにタブレットでプログラミングをすることができます。ファシリテーターと呼ばれるスタッフからプログラミングを学び、試行錯誤を繰り返すことで課題解決力を身に着けます。体験を通して、身近にあるロボットがどのようにして動いているのか、今後の自分の暮らしにどのような関わりを持つのかを考えます。



©2024 The LEGO Group.

プログラミング体験

事前学習

- 身近なところで生活に関わっているロボットを探す
- こんなロボットがあればいいなと思うものを考える

現地学習

- ペアワークで端末を使いプログラミングでロボットを動かす
- ロボットを動かして、今後プログラミングがどのようなことに利用できるか考える

事後学習

- 豊かな生活を送るためにはどのような仕組みやロボットが必要か考える
- 自分が住んでいる地域の問題をロボットで解決できないか考える

対 象

小学生

レゴランド®・ジャパン

体験料：無料 入園料：学校団体料金の設定がございます(小学生以下) ※入園料は時期により異なりますので公式HPをご確認ください ※50名以上は7日前までに全額振込、50名未満は当日清算	受け入れ人数 1回あたり20～44名 (1日最大4回)	体験所要時間 約30分	当日準備物 なし	ホームページもご覧ください。
事前予約 来園30日前の17:00までにホームページより要予約	受入可能時間 要相談			
取消料 来場14日前17時以降：100%	休園日 ホームページをご確認ください	問い合わせ先電話番号 0570-05-8605		



愛知の伝統的工芸品『尾張仏具・三方』を作る老舗企業から学ぶ 環境に配慮した廃材の有効活用とは



学習の
ねらい

全国でも三方メーカーは5社程度と少なくなるなか、尾張仏具の伝統を守りつつ環境問題に取り組む老舗企業「株式会社岩田三宝製作所」。技術の継承だけでなく木曽檜材にもこだわり、商品作成時にでしてしまう廃材活用の取り組みを活発的に行っておりま。伝統継承と廃材をリサイクルする技術や知恵に触れることができます。



アロマディフューザー



組子(完成品イメージ)



鉋引き体験



曲木体験



木曽檜の廃材を活用した作品作り

組子体験 アロマディフューザー
曲木・鉋引き体験

事前学習

- 自分の家にどのような仏具があるか調べる
- 自分が住んでいる地域の伝統的工芸品の歴史や現状を調べる

現地学習

- 職人と一緒に工房内を見学し、仏具を身近に感じる
- 地域の歴史や文化などの話を聞き、地域とのつながりを考える
- 廃材を使ってワークショップ体験

事後学習

- 尾張仏具の伝統を次世代へ継承するための方法を考える
- 自分が住んでいる地域の伝統産業の環境問題への取り組みを考える

対 象

小学生

中学生

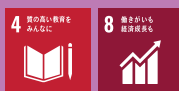
高校生

株式会社 岩田三宝製作所

料金(税込) 組子体験：1名 3,300円 アロマディフューザー：1名 3,300円 曲木・鉋引き体験：1名 5,500円	受け入れ人数 15名～40名	体験所要時間 2～3時間 ※ワークショップの種類により最大4時間	ホームページもご覧ください。
取消料 7日前まで：無料 前日：70% 2日前まで：50% 当日：100%	受入可能時間 9:00～16:00	当日準備物 動きやすい服装、運動靴	
休館日 土・日・祝日、お盆、年末年始	事前予約 1ヶ月前までに要予約(電話、FAX、メールにて)	予約先E-mail info@iwata-ss.co.jp	
	予約先電話番号 052-671-1720	予約先FAX番号 052-671-1685	



日本独自の文化～家紋文化を知る～ 家紋刷り体験



学習のねらい

約400年前に名古屋の地で始まったとされている「名古屋黒紋付染」。より艶やかで美しい黒染めの伝統を守る名古屋の老舗企業「山勝染工株式会社」で、色の豊かさ、伝統産業の継承の難しさ、日本人なら誰でも知っている家紋について触れます。名古屋黒紋付染の職人が挑戦する、現代社会への取り組みも見どころです。



洋服の染め替え体験から学ぶ、 伝統産業が取り組むSDGs



学習のねらい

約400年前に名古屋の地で始まったとされている「名古屋黒紋付染」。より艶やかで美しい黒染めの伝統を守る名古屋の老舗企業「山勝染工株式会社」で、日本人が古くから実践するSDGsについて学びます。日本人は昔から古くなった着物を直して使う習慣があります。例えば、着物にシミがついたとき、全体の色味を調整してシミを目立たなくしたり、若いころに購入した着物を年代に合わせて渋い色味に染め替える等あらゆる技術があります。色落ちしたお気に入りの洋服や汚れてしまった洋服の染め替えでSDGsを実践してみます。



家紋刷り体験（ハンカチ・バンダナ・手ぬぐいから選択可）

事前学習

- 染物文化について調べる
- 自分の家に伝わる家紋について調べる

現地学習

- 職人の話を聞き、家紋文化やその背景について学ぶ
- 家紋刷り体験

事後学習

- 家紋が果たす役割について家族で考える



対象

小学生
中学生
高校生

山勝染工 株式会社

料金 (税込)	体験料：小・中学生 1名 2,000円	受け入れ人数	15名～20名	体験 所要時間	1～2時間 ※人数により異なります	ホームページも ご覧ください。
取消料	前日まで：50% 当日：100% ※若干の人数変更は可能です	受入可能時間	10:00～17:00	当日準備物	汚れてもいい服装	
休業日	土・日・祝日	事前予約	3カ月前までに要予約	予約先FAX番号	052-523-1604	
		予約先電話番号	052-523-1601			

洋服の染め替え体験～汚れたり、色あせたりした洋服を黒染めでよみがえらせる～

事前学習

- 自分のお気に入りだけど着られない洋服を探す
- 黒染めについて調べる

現地学習

- 洋服の染め替えや「名古屋黒紋付染め」について職人さんからお話を聞く
- 黒染め体験
(黒染め→黒染めの釜を混ぜる
→水洗い→乾燥)

事後学習

- 染め替えた洋服を着る
- 身近にある自分の大切なものを使い続けるための方法を考える

対象

小学生
中学生
高校生

山勝染工 株式会社

料金 (税込)	体験料：中・高校生 1名 5,000円	受け入れ人数	15名～20名	体験 所要時間	6時間 ※人数により異なります	ホームページも ご覧ください。
取消料	前日まで：50% 当日：100% ※若干の人数変更は可能です	受入可能時間	10:00～17:00	当日準備物	汚れてもいい服装	
休業日	土・日・祝日	事前予約	3カ月前までに要予約	予約先FAX番号	052-523-1604	
		予約先電話番号	052-523-1601			

アップサイクル！身近なプラスチックゴミで 缶バッジ制作体験！～名古屋産業の支え、中川運河沿いで学ぶeco～

12 つくる楽しさ
つかう楽しさ

学習の
ねらい

中川運河近くにある「株式会社近藤印刷」では、平面の紙の印刷だけでなく様々な素材を取り入れ、多彩なグッズを作成しています。間伐材やリサイクル素材を使ったグッズに印刷を施した製品を扱うなど、素材を最後まで使うことで、地球環境にも配慮しています。名古屋の産業の支え、中川運河沿いで名古屋のモノづくりや、芸術文化を支えています。



プラスチックゴミから作る缶バッジ製作体験

事前学習

- アップサイクルとリサイクルの違いについて調べる
- 自分の住んでいる地域の産業の始まりについて調べる

現地学習

- 印刷会社の工場見学
- 中川運河の歴史と、『まもり、つくり、次世代へつなぐ』企業の話聞く
- 中川運河ギャラリーにて、屋上から中川運河を見学したあと、アップサイクル缶バッジ作り体験

事後学習

- 普段の生活で資源をアップサイクルできるものがないか考える
- 自分が住んでいる地域の企業や工場で廃材がどれくらいでているか調べ、アップサイクルの提案をする

対 象

小学生

中学生

高校生

(株)近藤印刷

料金 (税込)	体験料：小中高生 1名 800円	受け入れ人数	5名～20名	体験 所要時間	約2時間	ホームページも ご覧ください。
取消料	前日まで：無料 当日：100%	受入可能時間	10:00～16:00	当日準備物	特になし	
		事前予約	1週間前までにメールまたは電話にて要予約			
休業日	土日祝日	予約先電話番号	052-361-5445	予約先E-mail	info@noah-digital.co.jp	

地元の食材を使った守り続けたい「なごやめし」 味噌煮込みうどんを作る・食す、そして学ぶ！

4 食の安全・衛生を
めざす
11 食の安全・衛生を
めざす
12 つくる楽しさ
つかう楽しさ
17 食の安全・衛生を
めざす

学習の
ねらい

人間にとって大切な「食」。現在、食の多文化共生やフードロスの問題など食問題は大きな課題です。なごやめし「味噌煮込みうどん」の老舗、大久手山本屋では郷土食の継承と現代の食文化に合わせたSDGsにも取り組んでいます。実際に味噌煮込みを作り、食べることで、継承する大変さ、地産地消を大切にすることで生まれる地域の活性化や交流など後世につなぐことができる取り組みを学びます。



味噌煮込みうどん作りとSDGs講話

事前学習

- 飲食店が行っているSDGsについて調べる
- 自分が住んでいる地域の郷土料理や食文化について調べる

現地学習

- うどん職人のお話から、食で実践できるSDGsの取り組みについて学ぶ
- 味噌煮込みうどん作り体験と食事で、「なごやめし」文化に触れる

事後学習

- 自分が住んでいる地域の食材で地産地消を増やすにはどうしたらよいか考える
- 自分が住んでいる地域の郷土料理を他の地域の人々に紹介する

対 象

小学生

中学生

高校生

大久手山本屋

料金 (税込)	体験料：小中高生5,000円 ※当日現金支払いまたは事前銀行振込	受け入れ人数	4名～30名	体験 所要時間	約2時間	ホームページも ご覧ください。
取消料	前日：50% 当日：100%	受入可能時間	10:00～11:30	当日準備物	なし	
		事前予約	開催日の1か月前までにメールまたは電話にて要予約			
休業日	月曜日	予約先電話番号	052-733-7413	予約先E-mail	yamamotoya253@gmail.com	

名古屋の和菓子職人から学ぶ 伝統的食文化と、体によく環境に優しい和菓子づくり体験



学習のねらい

実は名古屋は「和菓子どころ」。江戸時代に尾張徳川家の歴代藩主が茶の湯を好んだことから、お茶請けとして和菓子づくりも盛んとなり、現在も和菓子を楽しむ文化が名古屋に根づいています。そんな名古屋で明治28年より製造販売する「福田屋」。元名古屋市の教職員だった和菓子職人5代目から、和菓子の文化や伝統的な食文化を身近に感じてもらえるよう、名古屋の代表的なお菓子『ういろ』や『鬼まんじゅう』についての歴史や伝統について話を聞き、実際につくすることで、尾張名古屋の和菓子文化を学びます。古くから伝わる和菓子から、食品廃棄量の削減や、体に優しい和菓子づくりなど地域のつながりと、食の将来を考えます。



「鬼まんじゅう」イメージ

「ういろ」イメージ

尾張徳川家の茶の湯文化から発展した和菓子づくりから学ぶ 地域に根付いた和菓子文化と未来への継承



学習のねらい

実は名古屋は「和菓子どころ」。江戸時代に尾張徳川家の歴代藩主が茶の湯を好んだことから、お茶請けとして和菓子づくりも盛んとなり、現在も和菓子を楽しむ文化が名古屋に根づいています。そんな名古屋で明治28年より製造販売する「福田屋」。元名古屋市の教職員だった和菓子職人5代目から、和菓子の文化や伝統的な食文化を身近に感じてもらえるよう、名古屋の代表的なお菓子についての紹介や、和菓子と伝統文化や行事の関係について学びます。このプログラムを通して、和菓子が日本の伝統的な食文化であることや、日本各地で生活に根ざした特色ある郷土のお菓子があることに気づいてもらうことが目的です。

和菓子作り体験

事前学習

- 和菓子がなぜ日本各地の生活に根付いたのか調べる
- 食品廃棄量を調べて、環境問題にどのような影響があるか考える

現地学習

- 5代目和菓子職人からの伝統文化の継承の難しさや、郷土菓子の魅力を聞く
- 名古屋の伝統和菓子『鬼まんじゅう』を作る

事後学習

- 和菓子の伝統を継承するために、私たちができることを考える
- 国産の材料を使うことでもたらす効果を考える

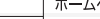
対象

小学生

中学生

高校生

御菓子所 福田屋

料金 (税込)	体験料：1名 1,500円	受け入れ人数	応相談	体験所要時間	約60分	体験場所	店舗	ホームページも ご覧ください。 
取消料	1週間前まで：無料 前日まで：30% 当日：100%	受入可能時間	13:00～(応相談)	当日準備物	エプロン、手拭き 頭髪を保護するもの(三角巾や帽子など)			
		事前予約	1カ月前までに電話またはFAXにて要予約					
休業日	水曜日	予約先電話番号	052-731-5689	予約先FAX番号	052-731-5699			

和菓子から学ぶSDGs講話

事前学習

- 自分が住んでいる地域の伝統和菓子は何か調べる
- 自分が住んでいる地域の伝統和菓子の特徴や地域の歴史とのつながりを考える

現地学習

- 5代目和菓子職人からのお話(講話)を聞く
- 名古屋の伝統菓子「ういろ」または「鬼まんじゅう」の試食
- 和菓子と伝統文化や行事について学ぶ

事後学習

- 自分が住んでいる地域の伝統和菓子を後世に伝えるために自分ができることは何か考える
- 和菓子という日本特有の伝統を守り続けよう

対象

小学生

中学生

高校生

御菓子所 福田屋

料金 (税込)	体験料：1名 500円	受け入れ人数	応相談	体験所要時間	約45分	体験場所	宿泊施設	ホームページも ご覧ください。  	
取消料	3日前まで：無料 前日まで：25% 当日：100%	受入可能時間	応相談	当日準備物 特になし					
		事前予約	1カ月前までに電話またはFAXにて要予約 ※予約の際に「ういろ」か「鬼まんじゅう」が選択						
休業日	水曜日	予約先電話番号	052-731-5689	予約先FAX番号	052-731-5699				

藤前干潟で考える環境問題

干潟・海の環境保全のために私たちができること



学習のねらい

藤前干潟は、大都市・名古屋に隣接し、大規模な埋立が進められてきたなかで、わずかに残された干潟です。季節ごとに様々な渡り鳥が飛来し、泥のなかにはカニやゴカイなど多様な生きものが生息する都市部に残された貴重な自然環境です。かつて、ごみ処分場計画により埋め立てられる危機にありましたが、長年の市民による保全活動により守られたという歴史を持ちます。2002年には国指定の鳥獣保護区となり、さらに湿地環境を保全するための国際的な条約である「ラムサール条約」の登録湿地にもなりました。藤前干潟で行われている環境学習や体験活動を通じて、干潟やその先の海の環境問題について学ぶことができるほか、ごみ拾い等の活動を通じて、実際の環境保全活動を行うこともできます。



稲永ビジターセンター



藤前干潟活動センター



名古屋市野鳥観察館



事前学習

- 自分が毎日どれだけのごみをだしているか考える
- 干潟の役割について調べる

現地学習

- 藤前干潟での環境問題と保全についての話を聞く
- 季節ごとに降り立つ野鳥を観察して、干潟の大切さを考える
- 干潟での生きもの観察、ごみ拾い

事後学習

- プログラムを通して、ごみと生きものとの関係性について考える
- 自分が住んでいる地域でできる環境保全活動は何かを考える

対象

小学生

中学生

高校生

	休館日	問い合わせ先電話番号	ホームページもご覧ください
稲永ビジターセンター	毎週月曜日と火曜日 ※月曜もしくは火曜が祝日(もしくは振替休日)の場合は水曜日	052-389-5821	NPO法人 藤前干潟を守る会
藤前干潟活動センター	※月曜、火曜ともに祝日(もしくは振替休日)の場合は、祝日あけの2日間 年末年始(12月29日～1月3日)	052-309-7260	名古屋市野鳥観察館
名古屋市野鳥観察館	毎週月曜日(祝日の場合は翌平日) 第3水曜日(祝日の場合は第4水曜日)	052-381-0160	環境省の藤前干潟 ～人と自然をつなぐ翔橋～



藤前干潟保全の歴史と今の問題・干潟体感学習

稲永ビジターセンター・藤前干潟活動センターの館内にて、藤前干潟保全の歴史や今の問題について、スタッフのお話やDVD視聴、展示により学ぶことができます。また、実際に干潟に入り、泥の感触や生きものを「体感」することで、自然の不思議さや、生きもの大切さを感じ学ぶことができます。

※団体で干潟に入っている学習を希望される場合は、事前に必ずセンターにお問い合わせください。

料金 (税込)	体験料：応相談 入館料：0円	受け入れ人数 1名～30名 ※30名以上は応相談	当日準備物 筆記用具 (体験内容により追加の持ち物が異なります)
取消料	なし	受入可能時間	9:00～16:30
事前予約	1週間前までに稲永ビジターセンターと藤前干潟活動センターへ電話にて要予約	体験所要時間	30分～(応相談)



イメージ

名古屋市野鳥観察館でバードウォッチング

藤前干潟には年間を通して100種類もの野鳥が飛来します。名古屋市野鳥観察館には、30台もの望遠鏡があり、季節ごとに飛来する様々な渡り鳥を観察することができます。館内では渡り鳥の飛来情報を知ることができるほか、スタッフが丁寧にバードウォッチングのポイントなども解説してくれます。

料金 (税込)	体験料：0円 入館料：0円	受け入れ人数 1名～30名	当日準備物 筆記用具
取消料	なし	受入可能時間	9:00～16:30
事前予約	1週間前までに名古屋市野鳥観察館へ電話にて要予約	体験所要時間	60分



イメージ

干潟・海の環境を守る ～藤前干潟でごみ拾い～

川を通じて干潟や海に流出したペットボトル等の容器やレジ袋などのプラスチックごみは、様々な問題を抱えています。海の様々な生きものが誤って飲みこんでしまい、命を落としてしまう場合もあります。さらには、波や紫外線により細くなったマイクロプラスチックは小さな生きものにも取り込まれていると言われています。干潟周辺のごみ拾い活動を通じて、干潟や海の環境保全に貢献することができます。

料金 (税込)	体験料：応相談	受け入れ人数 応相談	当日準備物 汚れてもいい服装
取消料	なし	受入可能時間	9:00～16:30
事前予約	藤前干潟活動センターまたは稲永ビジターセンターへ電話にてご相談ください	体験所要時間	応相談



イメージ

※その他にも様々なプログラムがあります。詳しくはホームページをご覧ください。